

平成25年9月25日

区立九段小学校・幼稚園施設整備基本設計業務プロポーザル委員会

審査講評

委員長 歌川さとみ

1. 審査概要

区立九段小学校・幼稚園の校舎は、関東大震災の復興小学校として建てられた経緯から、安全性の確保とともに今日的な教育課題に対応できる教育環境を創出するなかで、いかに現校舎の歴史的価値を継承させていくかが課題となっています。そのため、本業務の提案者募集では、課題解決に向けた幅広い提案を受けることを目的に「プロポーザル方式」を採用し選定を行いました。

募集に対して10社が参加申し込みをし、実際に提案書を提出したのは9社でした。第一次審査では提出書類（参加申込書等及び提案書）の審査を行って5社を選定し、第二次審査では第一次審査を通過した5社について、本提案を担当する予定の技術者によるヒアリングを行いました。

いずれの提案者も、与条件を踏まえた独自性のある提案を行いました。提出書類及びヒアリング結果を総合的に評価し、「5. 審査結果」のとおり最優秀提案者ならびに次席者を選定しました。

2. 審査委員

氏名	所属等	備考
鈴木 伸治	横浜市立大学 国際総合科学部 教授	景観意匠系(都市デザイン・景観・歴史的環境保全)
後藤 治	工学院大学 建築学部 教授	建築保存系(歴史的建築物(街並み)の保存・活用)
土屋 十二	聖徳大学大学院 教職研究科 教授	学校建築系(体育科教育法)
◎ 歌川 さとみ	政策経営部長	千代田区職員
高橋 誠一郎	子ども・教育部 次世代育成担当部長	同上
辰島 健	子ども・教育部 子ども施設課長	同上

小川 東	政策経営部 施設経営課長	同上
------	--------------	----

◎ 委員長

3. 審査経過

(1) 第一次審査（平成25年9月3日）

第一次審査では、各委員が提案書を審査し、その採点結果を集約した上で審査を行いました。審査内容は以下の通りです。

- ①組織評価（経営規模、業務執行技術力、精通度、取組体制、社会及び地域への貢献度）
- ②担当者評価（担当者の経験及び能力）
- ③提案内容評価（復興小学校の歴史的価値の継承と質の高い教育環境の整備との融合について、協議会との協働による施設整備について、施設整備計画方針の5つの考え方について）

この審査により、第二次審査でヒアリングを行う5社を選定しました。

(2) 第二次審査（平成25年9月13日）

当日は第一次審査で選定された5社に対し、個別ヒアリングを実施しました。ヒアリングは提案者によるプレゼンテーション10分、質疑応答15分の設定で行いました。

ヒアリング後、提案書の内容及びヒアリングの総合評価をもとに審議を行い、各委員が最終的な評価を行いました。この評価の集計結果をもとに最終審議を行い、得点上位の者を最優秀提案者とし、次位の者を次点者として選定しました。

なお、第一次審査、第二次審査を通じ、最優秀提案者等を選定するまでの間、提案者名を伏せたうえでアルファベット記号を付し、審査を行いました。

4. 全体講評

現区立九段小学校・幼稚園の校舎は、大正15年に建設されて以来、80年以上が経過し、教育環境の改善が求められています。一方で、現校舎は関東大震災の復興小学校として建てられた経緯から、歴史的建造物としての価値が注目されています。

本プロポーザルでは、九段小学校・幼稚園の施設整備において、安全性の確保とともに今日的な教育課題に対応できる教育環境を創出するなかで、いかに現校舎の歴史的価値を継承させていくかを課題として示し、課題解決に向けた提案を求めました。

評価に当たって各委員から出された視点は次の通りです。

- ・ 歴史的価値への認識

- ・ 教育環境を改善するためのアイデア及び提案
- ・ 景観に対する考え方
- ・ コストに対する考え方
- ・ 保存手法に関する知識や理解
- ・ 協議会の運営手法及び担当者の説明力
- ・ スケジュールに対する考え方

## 5. 審査結果

最優秀提案者 株式会社 久米設計  
東京都江東区潮見二丁目1番22号

## 6. 最優秀提案者の提案に対する講評

施設整備計画については、教室等諸室の配置方針が合理的であるとともに、地域開放専用の動線が確保されている点、セキュリティへの配慮がなされている点など、教育環境の向上に関する提案が評価されました。

歴史的価値の継承については、北棟の外壁保存の可能性に対する懸念も示されましたが、保存の手法への考察を示し、提案の記述が具体的である点などで評価を得ました。

協議会との協働については、分科会等のスケジュールが時間的に難しいのではないかと、などの指摘があった一方、論点整理が的確であり、テーマ別に学識経験者の力を借りて進める提案、合意形成のための担当者の配置、Web サイトを通じた検討プロセスの公開やレターの発行など協議会との意見調整に新しい提案がありました。

これらの評価を総合して、最高得点を獲得したものです。

以上の審査の結果、当委員会は本案を最優秀提案とするものです。

以上